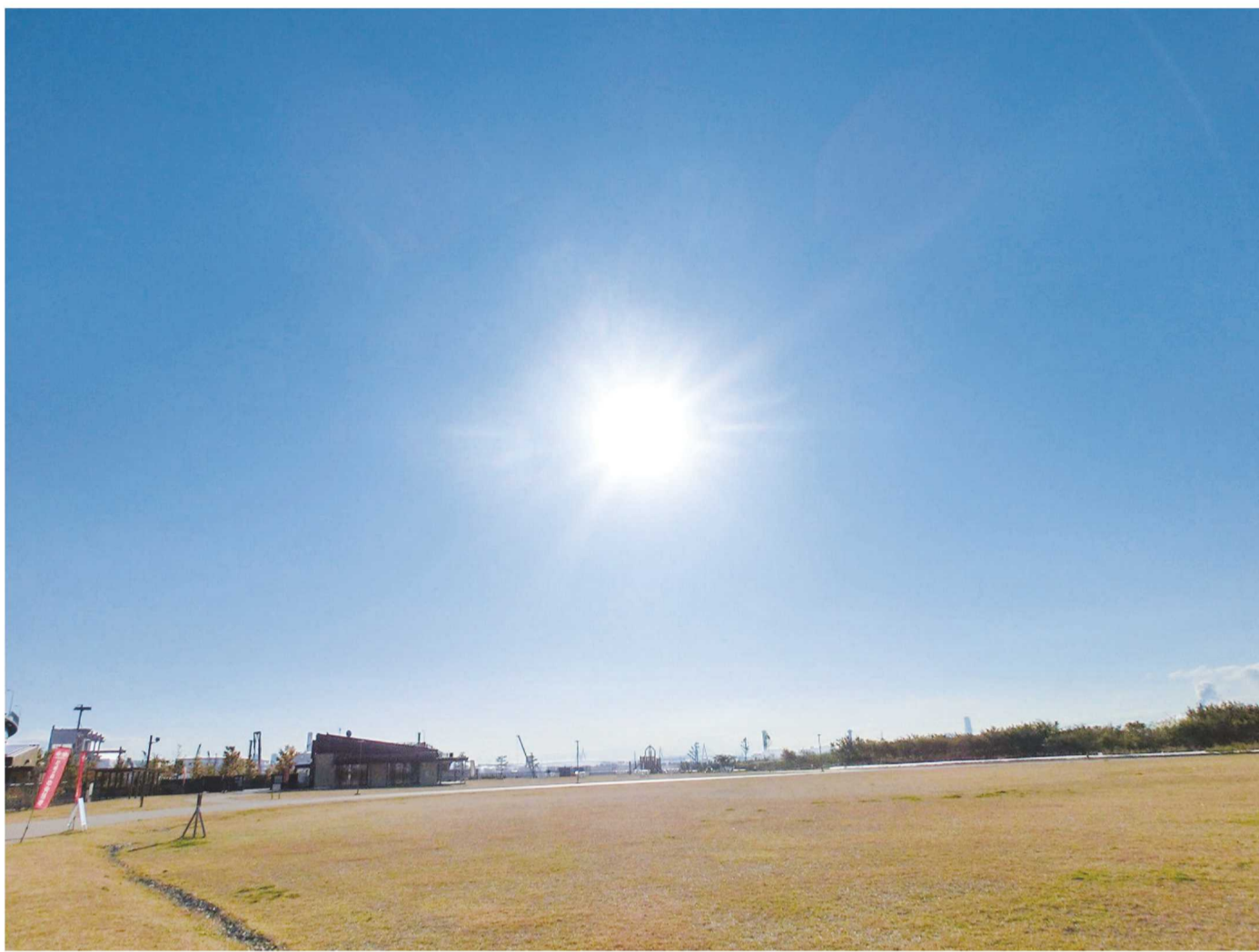




発行所
公益財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 岸谷義雄
題字 井戸知事

あなたなら
無事故の着地
決められる！



【兵庫県立尼崎の森中央緑地からの朝日】

平成三〇年新春メッセージ 未来への扉を開く

井戸敏三



新年あけましておめでとう
ございます。
兵庫県政一五〇周年、二〇一八年の幕が開きました。一八六八年、後に近代日本の発展を牽引する神戸港の開港に続いて兵庫県が発足し、一五〇年となります。
今年、本県の行政構造改革の目標年でもあります。阪神・淡路大震災や経済不況で危機に陥った財政の立て直しに着手して十年。最後の仕上げの時が来ました。
この大きな節目を新しい兵庫づくりへの転換点にしな

ければなりません。
これまでの一五〇年は成長の時代でした。これからは成熟の時代です。人口は五十年以上、百年近くは減少します。経済も右肩上がりの拡大は見込めません。一人ひとりが夢の実現や豊かな時間の過ごし方を今以上に求める時代になるはず。
今後も活力に満ちた兵庫であり続けるため、人口減少、少子高齢化に適切しながら、新たな価値観や県民が求める多様な生き方、働き方に対応できる地域を創っていく。二

〇一八年、そのための新たな挑戦を始めます。
第一に、未来への道筋を描く。兵庫の進むべき方向を県民と共有するため、十年後のめざす姿と、持続可能な県政運営の枠組みを示します。
第二に、少子高齢化への対応。安心して子どもを生み育てられる社会づくり、誰もが生きがいを持って長寿を全うできる社会づくりを進めます。
第三に、次代を担う人づくり。人工知能に置き換えられない創造力や感性を伸ばす教育に力を入れます。大人の学

び直しや柔軟な働き方ができる環境を整えます。
第四に、元気な地域づくり。次世代産業の育成、農林水産業の基幹産業化、国内外との交流や芸術文化・スポーツによる賑わいの創出に取り組みます。
第五に、社会基盤の充実。活発な社会経済活動の基礎となる高速道路などの整備を進め、近い将来起こるとされる巨大災害への備えにも万全を期します。
ふるさとを愛する県民の皆様と共に兵庫県政一五〇年を機に新しい地域づくりのスタートを切る。さあ、力を合わせて未来への扉を開きましょう。
**兵庫県 一五〇年迎え
新しいふるさとづくり
持続目指さん**

新年のあいさつ

公益財団法人 兵庫県消防協会
会長 岸谷 義雄



新年あけましておめでとう
ございます。
平成三〇年の輝かしい新春を迎え、消防団員、消防職員並びにご家族の皆様にご挨拶を申し上げます。
皆様方には、消防防災の最前線に立ち、あらゆる災害から地域の安全・安心を守るため、日夜消防・防災活動にご精励いただいておりますことに、心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。また、平素は当協会のご理解や活動に対し、格別のご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、七月の九州北部豪雨では、一時間で二二〇ミリを超す大雨を記録し、大分県日田市の消防団員が住民の避難誘導中に土砂崩れに巻き込まれ犠牲となられたなど大きな被害が発生しました。兵庫県内でも台風第一八号と第二一号は農作物や農業施設、公共施設などに大きな被害をもたらしました。また、昨年一〇月二五日の明石市内の大蔵市場火災では、約千六百平方メートルを焼失しましたが、地元消防本部や消防団、周辺消防本部の応援により、住宅集積地域

でありながら延焼範囲は最小限に抑えられ、幸いにも人的被害はありませんでした。
昭和二十三年三月七日に消防組織法が施行され、市町村消防の原則に基づく今日の自治体消防が確立されてから本年三月で七〇周年を迎えます。この間、常備消防の整備・拡充が進められるなか、消防団も、火災だけでなく、様々な災害に対処する地域防災力の中核的な存在として欠くことができないものとなっており、我々はより一層強固な消防・防災体制の構築に努めていか

皆様方には、防災意識の高揚と物心両面の準備に努められ、今後とも地域住民の生命、身体、財産を守るといふ消防の崇高な使命を達成するため、職務にご精励いただきますようお願い申し上げます。
当協会といたしましても、消防団の活性化を図り、社会環境の変化に即した消防団の充実強化に努めてまいりたいと考えておりますので、皆様方におかれましては、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
結びに、今年一年が災害のない平穏な年であることを祈願し、県下の消防団員、消防職員の皆様のご活躍、ご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭の辞

平成三〇年の新春を迎えるに当たり、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

平素から消防防災活動や消防関係団体業務などに従事され、地域の安心・安全の確保に御尽力いただいた全国の消防関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、七月の九州北部豪雨をはじめ、台風や集中豪雨による自然災害が多発した他、平成二八年末の糸魚川市での火災に続き、二月の埼玉県内の大型倉庫火災等の大規模な火災も発生しました。それぞれの現場において、献身的な活動に携わっ

ていただいた消防職員、消防団員の皆様には、心から敬意を表します。

また、三月に長野県内で発生した消防ヘリコプター墜落事故により、前途有為な多くの隊員を失ったことは我が国の消防にとって大きな損失であり、ヘリコプター運行の安全性向上等、消防職団員の活動時の安全確保は益々重要であると認識しています。

八月から九月にかけては、北朝鮮から発射された弾道ミサイルが二度にわたり我が国の上空を通過する事態が発生した際に、Jアラートによる情報伝達が行われました。

消防庁長官

稲山 博司



このように、国民の安心・安全を脅かす災害は従前にも増して複雑多様化しており、消防庁では、今後の大規模災害に備えるとともに、様々な災害に対応できるよう、緊急消防援助隊及び常備消防力の充実強化はもとより、地域防災力の中核となる消防団及び自主防災組織等の充実強化、火災予防対策の推進、消防防災分野における女性の活躍推進、Jアラートも含めた防災情報の伝達体制の整備等に取り組んでまいります。

あわせて、二〇二〇年に開催予定の東京オリンピック・パラリンピック競技大会等、国家的な大規模イベント開催時における危機管理体制の充実や外国人来訪者等への対応等の大都市等の安心・安全対策につきましても、引き続き計画的に推進してまいります。

また、東日本大震災等の被災地では、依然として厳しい状況の中で消防防災活動を強いられている消防本部もあります。被災地における消防防災体制の充実強化につきましても引き続き推進してまいります。



消防制度七〇年代のスタートに当たって

新春ごあいさつ

公益財団法人 日本消防協会

会長 秋本 敏文



明けましておめでとうございます。新年のおよるごびを申しあげますとともに、今年が無事平穏でよい年でありますよう心からお祈り申し上げます。

東日本大震災から間もなく七年となりますが、この間も実にさまざまな火災、自然災害が発生しており、消防関係者は「いつでも、どこでも、何でもある」位の覚悟をせざるを得ないように思われます。そのなかで、東日本大震災の経験から成立した「消防団を

中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の趣旨に沿った地域の消防防災体制の強化が益々重要となっております。

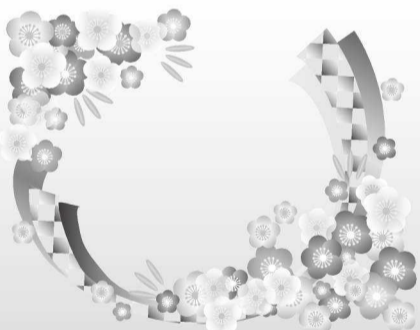
これは、常備消防との緊密な連携のもと、地域にあっては消防団が中心となりながら地域の皆さんの総力を結集して、どんな災害があっても生命を守り抜くことができる体制づくりをめざしてありますが、もしもこの地域で何かの災害が発生したらどんな事態になるか、その時はどうするかと

いったような具体的なご相談を地域の皆さんでやって頂いて、時々訓練もしてみたいという具体的な動きが益々大事になります。まだまだ多くの課題がありますが、今年も皆さんと一緒に力を合わせて前進してまいりたいと思っております。

今年、第二次大戦後に制定された現在の自治体消防制度が七〇周年を迎えますが、我が国消防は、いろいろな面で大きな変化に直面しています。大雨の増加など災害の様

相が変化しています。また、社会環境も、人口減少、少子高齢化、被雇用者の増加、地域コミュニティの変容など変化が見られます。消防に求められる活動も拡大してきました。新たな技術開発もありま

す。簡単にはい尽くせない大きな変化がいろいろな面で見えており、消防は、将来に向かって、これらの変化を真正面から受け止めながら、国民の皆さんの安全確保に貢献することができる新たな時代の消防体制づくりを進めなければなりません。消防の使命は益々重大になり、皆さんのご苦しみも多いため、皆さんの関係者が力を合わせて前進したいと思っております。今年もよろしく願います。



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

兵庫県消防協会

公益財団法人

平成三〇年元旦

- | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|
| 高田光雄 | 荻野克己 | 西岡安雄 | 釜地英雄 | 富田重二 | 中西君一 | 石原和彦 | 島田幸司 | 小西元八 | 岸谷義雄 | 大久保博章 | 荒木一聡 | 金澤和夫 | 井戸敏三 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|



平成二九年 秋の叙勲(消防関係)伝達式が挙行



受章者の皆様



会場の様子

平成二九年秋の叙勲が一月三日に発令されました。叙勲の受章者(消防関係)は、全国で六〇五名、うち兵庫県では、元消防団員一七名が叙勲の榮に浴されました。

受章者は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するとともに、消防力の強化・拡充に尽力し、社会公共の福祉の増進及び業界の発展に寄与した消防関係の方々です。

叙勲の伝達式は、平成二九年十一月四日(火)にニッショーホールで盛大に挙行されました。

《全国消防関係受章者数》

瑞宝小綬章	二八名
旭日双光章	四名
瑞宝双光章	六二名
瑞宝单光章	五一一名
計	六〇五名

〈兵庫県下受章者(消防功労)〉 ◎瑞宝双光章

元神戸市西消防団 団 長 北井 道男



元宍粟市一宮消防団 団 長 長野 隆一



元赤穂市消防団 団 長 望月 昌次



元豊岡市城崎消防団 団 長 西浦 博



元豊岡市出石消防団 団 長 藤井 正昭



元淡路市消防団 団 長 魚住 幸市



◎瑞宝单光章

元神戸市垂水消防団 団 長 佐藤 博司



元明石市消防団 副団長 市場 賢介



元たつの市消防団 副団長 久保 俊晴



元佐用町消防団 副団長 阿山 清則



元養父市消防団 副団長 加納 祥裕



元香美町消防団 副団長 石田 俊一



元尼崎市消防団 分団長 中尾 光孝



元三田市消防団 分団長 白谷 敏和



元加古川市消防団 分団長 鎌田 光男



元高砂市消防団 分団長 杉田 住夫



元姫路市姫路西消防団 分団長 岩佐 正誠



第二九回 危険業務従事者叙勲が 平成二九年一月三日に発令

叙勲の栄に浴された方々は、消防職員として国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するため、永年にわたり著しく危険性の高い業務に精励するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されました。受章者は、全国で瑞宝双光章三三〇名、瑞宝単光章二九二名、計六二二名、うち兵庫県関係では、二二名の消防職員が受章されました。

叙勲の伝達式は、平成二九年一月一日(金)に総務省講堂で盛大に挙行されました。



受章者の皆様



会場の様子

兵庫県下受章者(消防関係)
◎瑞宝双光章

元神戸市
消防監 橋本 悟



元神戸市
消防監 藤井 孝文



元宝塚市
消防監 坂本 利明



元北はりま消防組合
消防監 藤原 光浩



元北はりま消防組合
消防監 山西 修



元姫路市
消防監 山下 薫



元西はりま消防組合
消防監 岩村 義孝



元三田市
消防司令長 南 勝美



元豊岡市
消防司令長 小崎富士夫



元豊岡市
消防司令長 西川 達男



元淡路広域消防事務組合
消防司令長 仲 聖史



元淡路広域消防事務組合
消防司令長 細川 正勝



◎瑞宝単光章
元神戸市
消防正監 河嶋 幸一



元西はりま消防組合
消防監 藤本 哲徳



元尼崎市
消防司令長 合田 義弘



元明石市
消防司令長 山端 和則



元加古川市
消防司令長 島 徳男



元加古川市
消防司令長 吉田 博幸



元高砂市
消防司令長 船木 修三



元三木市
消防司令 末福 昭憲



元三木市
消防司令 前田 篤見



平成二九年度秋の褒章伝達式 平成二九年秋の褒章が 十一月三日に発令

消防団員として永年にわたり消防防災活動に献身的に努力し、消防の発展に大きく授与される藍綬褒章は全国で九四名、うち兵庫県では神戸市東灘消防団の西浦団長、姫路

市網干消防団の三輪副団長が受章の栄誉に輝きました。伝達式は平成二九年一月一五日(水)にスクワール麴町において行われました。

《兵庫県下受章者(消防功労)》
◎藍綬褒章

神戸市東灘消防団
団 長 西浦 豊



姫路市網干消防団
副団長 三輪 敏之



会場の様子



第二三回 全国女性消防団員活性化広島大会開催

(公財)兵庫県消防協会事務局

第二三回全国女性消防団員活性化広島大会が、平成二九年十一月十六日(木)に広島グリーンアリーナにおいて開催されました。

式典は、全国から三、三〇名を超える女性消防団員を始めとする消防関係者が参加し、兵庫県からも岸谷会長以下総勢一三一名が参加しました。

今大会は、「ようこそ平和を未来につなぐ広島へ〜みんなで減災!輝け 消防女子〜」をテーマに全国の消防関係者が一堂に会し、日頃の消防団活動の発表や意見交換を行いました。

オープニングの広島市消防音楽隊の演奏、広島県立広島高等学校書道部のビデオ出演に続き、開会式が行われ、大会旗入場、開会宣言、国歌斉唱、主催者挨拶、開催県知事挨拶、開催市長挨拶、来賓祝辞、続いて全国から八団体の女性消防団による防火防災啓発劇や活動事例発表や、広島東洋カープ新井貴浩氏の講演、また「女性パワーと地域防災力強化」というテーマでパネルディスカッションも行われ、活発な意見交換が行われました。

兵庫県からの大会参加団体は次のとおりです。

- 神戸市東灘消防団
- 神戸市北消防団淡河支団
- 神戸市北消防団道場支団
- 神戸市北消防団有馬支団
- 神戸市長田消防団
- 神戸市垂水消防団
- 姫路市飾磨消防団
- 姫路市家島町消防団
- 姫路市夢前町消防団
- 尼崎市消防団
- 明石市消防団
- 芦屋市消防団
- 加古川市消防団
- 三木市消防団
- 川西市消防団
- 小野市消防団
- 三田市消防団
- 淡路市消防団
- 播磨町消防団
- 相生市消防団
- たつの市消防団
- 上郡町消防団
- 宍粟市消防団
- 佐用町消防団
- 太子町消防団
- 赤穂市消防団
- 丹波市消防団
- 豊岡市出石消防団
- 公益財団法人兵庫県消防協会
- 神戸市消防協会



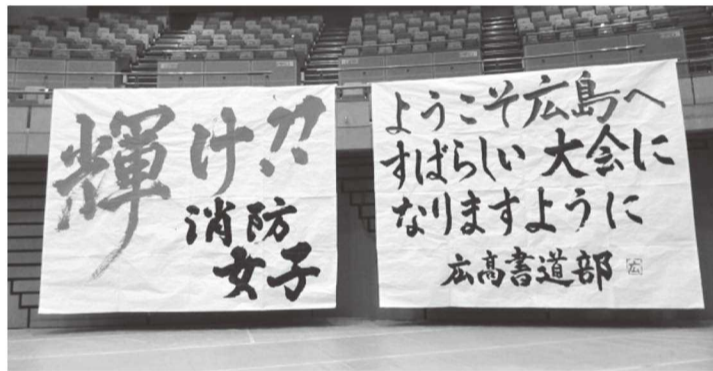
パネルディスカッション



開会式



広島市消防音楽隊によるウェルカムコンサート



大会テーマ〜広島県立広島高等学校書道部作成〜



昼食休憩中のステージ：神楽上演「八岐大蛇」(宮乃木神楽団)



防火防災啓発劇の様子

「平成二九年消防白書」の公表

消防庁

この度、消防庁において、消防白書が公表されました。消防白書は、国民の生命、身体及び財産を災害等から守る消防防災活動について紹介しているもので、毎年刊行されています。

平成二九年版消防白書では、次の特集が掲載されています。

- 一 平成二九年七月九州北部豪雨の被害と対応
- 二 糸魚川市大規模火災を踏まえた今後の消防のあり方
- 三 埼玉県三芳町倉庫火災を踏まえた対応
- 四 消防の連携・協力の推進〜第二次消防審議会答申を踏まえ〜
- 五 消防団を中核とした地域防災力の充実強化
- 六 女性消防吏員の更なる活躍の推進
- 七 消防本部におけるハラスメント等への対応策
- 八 救急体制の充実
- 九 災害時等における高齢者、障害者及び外国人の方々への情報支援策の充実強化
- 十 全国瞬時警報システム(Ｊアラート)による情報伝達における課題と対応

消防白書は、消防庁のホームページに掲載されておりますので、ぜひご覧ください。

消防庁ホームページ
(消防白書掲載ページ)
<http://www.fdma.go.jp/html/hakusho/h29/h29/index.html>



『全国へ発信
わがまち わが神戸市長田消防団!』

神戸市長田消防団

神戸市長田区は、市の中央部よりやや西に位置し、北に六甲山系高取山、南に瀬戸内海、新湊川、菊藻川に形づくられた南北に細長い区域です。戦争による市街地の罹災もありましたが、戦後は山麓部にも市街地が広がり、庶民的住宅のまち、中小企業のまちとして利便性の高い下町情緒の溢れるまちです。

平成七年一月一七日に発生した、阪神・淡路大震災により、長田区をはじめ、既成市街地は壊滅的な被害を受け、神戸市長田消防団も団員一人ひとりが被災者であるにもかかわらず、救助・消火活動に奮闘し、消防団としての任務と役割を全うしました。

その後は、全国から温かい支援をいただき、地域で支えあいながら復興を進めてきました。平成二一年一〇月には、長田区にゆかりある漫画家・横山光輝氏の代表作『鉄人二八号』のミニチュメントが若松公園に完成するなど、全国に神戸の復興を発信し現在に至っています。

神戸市長田消防団は、外浦団長のもと八つの分団、九箇所の詰所を拠点に現団員一三四名により、平常時には各分団において、放水訓練、ポン



動画アドレス

<https://www.youtube.com/watch?v=OyA1MEphVZo>

が閉じ込められることが予測活動の紹介
大地震が発生すると、家屋が倒壊するから救出救助訓練が閉じ込められることが予測されています。

長田救命体操は、より多くの人々に「救命の輪」が広がる事を目指して、心肺蘇生法を楽しく分かりやすく体得していただくために作られた体操です。

誰でも簡単にできて、覚えることができるものが良いということ、高齢者の方にも行えるよう、出来るだけシンプルな体操にしました。また、音楽も団員の知人である作曲家にテンポ良く多くの人に馴染んでいただける楽しい曲とオリジナルソング提供していただきました。

これで、いつでも、どこでも、気軽に披露する

ポイント、防災警戒、救急講習指導、地域訓練指導など多岐にわたって活動し、火災時には消防隊と連携した消火、救助、救急活動、避難誘導、警戒区域の設定、群衆の整理などの活動を行っています。また、風水害、地震などの大規模災害時には、消防団員が地域防災の中核として、災害防衛活動に非常に大きな戦力となっています。

されます。一人でも多くの方を助けるためには、地域の住民による救助活動が重要になります。知識や資機材がないと、うまく救助できません。そこで、神戸市長田消防団では、バールや当て木を使用した、倒壊家屋からの人命救出活動方法を地域住民に指導するために、消防署員と訓練を行い、地域の住民へ指導していく取り組みを行っています。

長田救命体操

救命効果の一層の向上を図るため、地域において応急手当の普及活動をする救急インストラクターを養成しています。平成二〇年度から神戸市長田消防団は市民救命士講習実施団体(通称FAST)に登録し、救急インストラクターの資格の維持と知識・技術の向上を図り、地域のリーダーとしての指導能力を身につけています。



動画アドレス

https://youtu.be/0_JuhMGhFOM

消防団員入団促進検討プロジェクトを推進しました。

全国的に人口減少と高齢化が進む中、わが神戸市長田消防団では、消防団の充実強化を図るため、消防団員の入団促進に関する方策について検討する入団促進検討プロジェクトを推進しました。

神戸市長田消防団では、これまで地元大学に通う学生を、本団付団員として採用するなどの取り組みを行ってきました。今後は、各分団の管轄区域を越えて、長田区全域で特定の消防団活動を行う区全域活動団員(仮称)の設置などを検討してまいります。

これからの消防団員の充実強化を図り、さらなる安心安全なまちづくりを目指します。

ことができるようになり、区のいろいろな行事で、披露させていただきます。

今後は、一人でも多くの人に救命の手順を知っていただき、いざという時には自信を持って行動していただけるように広めていきたいと思えます。

『地域防災の要 小野市消防団』

小野市消防団

魅力が詰まった町
小野市は、兵庫県南部東播磨地域の中央に位置し、瀬戸内式気候に属した温暖な気候に恵まれ、市南部には、工業団地や流通業務団地があり、流通の動脈とも言える山陽自動車道が通っているなど、伝統工芸と近代工業が共存する町並みとなっています。

◆観光名所
・鎌倉時代に建立された浄土寺
・大型遊具とひまわりに囲まれた「ひまわりの丘公園」
・冬季に多くの鴨が飛来する「鴨池」
・全長約一五キロメートルの「小野アルプス」
・「白雲谷温泉ゆびか」

◆市内のイベント
・例年八月開催の「小野まつり」
・一二月開催の「小野ハーフマラソン」
・伝統・観光・イベント・スポーツなど、あらゆる魅力が詰まった町になっています。

○火災に備える
突然発生する火災に備えるために、消火技術を向上させる消防操法の基本から、林野火災や密集市街地での火災といった常備消防だけでは対応困難な火災対応のために、各町各部の連携を深める遠距離中継放水訓練などの応用訓練まで、様々な訓練を実施しています。

このような訓練を通して、団員からは、「操法の動きの一つ一つに意味があるし、基本ができれば応用はできない」、「町内で消防団に関心を持ってもらえるようになり、地域住民の方と活動について話をする機会が増えた」というような声もあり、真剣に取り組んでいる姿こそが、団員確保にも繋がっていると実感されています。

○小野市消防団の構成
飛田団長率いる小野市消防団は、六分団、団員数六九五名、ポンプ自動車五台、総務省消防庁から貸与されている救助資機材搭載型ポンプ自動車一台、小型動力ポンプ積載車四九台で構成され、「自らの郷土は自らで守る」の郷土愛護の精神に基づき、日夜、防火・防災に努め、市民の安全・安心な暮らしを守るため、日々、災害防衛に取り組んでいます。

○災害に備える
平成一三年に北播磨地域で初めて女性分団(愛称・サンフラワーズ一九)を結成し、女性分団の活動の柱の一つとして、平成二八年から避難所運営をシミュレーション訓練する「避難所運営研修HUG」に取り組んでいます。



○地域防災力の強化
災害時には、消防団と地元自治会との連携は欠かすことができないため、消防団は、独自に各自治会などで行われている祭りや防災訓練などの行事にも参加し、地域の防災リーダーとしても活躍しています。消防団活動を通して、人と人とのつながりが、地域コミュニティを大切にし、「自助・共助・互近助」という心構えを普及し、地域防災力の強化も図っています。



避難所運営に関わる市職員や地域のNPO団体などを対象に、女性団員が講師として

わが町の団長さん

「団員の安全が第一」

川西市消防団長

安満 真哉



時に優しく 時に厳しく

川西市は平成二九年一二月に新名神高速道路の川西〜高槻間が開通し、さらに平成三〇年三月には残る川西〜神戸間の開通も予定されており、高槻〜神戸間の開通により市の活性化に大きな期待が寄せられています。

安満団長は昭和六〇年に消防団に入団する際、地元消防団の先輩からの声かけで軽い気持ちで入団したそうですが、災害現場では厳しい姿勢で細かくかつ的確に指示を出

すなど団員からの信頼も厚く、副分団長、分団長、本部付分団長、副団長を歴任されたのち、平成二八年八月に団長に就任されました。

団員は災害時に市民の生命や財産を守るため危険な場所へ赴くのが任務のため、団員を統率する立場となつてからは団員の安全に人一倍気を配り、出動して災害現場から無事に戻ってくるまでが活動の一環と考え、陣頭指揮を執っています。

われら若手消防団員

～地域のために～

宝塚市消防団
中部分団
辰己 聡一郎



歌劇のまちとして知られる宝塚市は、市域北部の西谷地区にのみ消防団が配置され、一団本部と一分団で組織し、ここ数年は二〇〇名の条例定員を確保して消防団活動を行っています。

私が消防団へ入団したきっかけは、大学を卒業した後、生まれ育った地域に何らかの形で貢献したいと考えたときに、真っ先に浮かんだのが消防団への入団でした。

消防団の活動は、訓練や資機材点検、地域行事への参加が主であり、華やかではないですが、地域の方から「いつもご苦労様です」と感謝の



言葉をかけてもらえた時は本当に嬉しかったです。

西谷地区には、平成三〇年三月に新名神高速道路の宝塚北スマートインターチェンジと宝塚北サービスマリアの運用が開始される予定であり、この地区の安全と安心を確保し続けるために、消防団に求められることは多くなると思います。

過疎化が進み若い世代が少ない現状ですが、私は生まれ育ったこの地域のために、これからも尽力してまいります。



普段は鉄工所を営んでおられ、その作業場の一角には大きなテーブルが置かれており、不定期で「ビアホール」が開店され、お酒の好きな団長と団員の憩いの場となります。

そんな「ビアホール」で団員と酒を飲んでくつろいでいるときの団長は温和で物腰も低く、災害活動時に見せる姿とはまた違った一面を見ることが出来ます。

安満団長が就任して約一年半が経とうとしますが、今後も団員の頼れる太い体形(失礼)ではなく幹としてさらなる活躍が期待されています。

「時代とニーズに合った消防団を 目指して」

猪名川町消防団長

前岡 隆顕



猪名川町は兵庫県の南東部に位置し、東隣は大阪府豊能郡に接しています。また、一級河川猪名川が町の中央を北から南へ流れており、清流猪名川の恵みを受け発展してきました。町の南部は阪神間のベッドタウンとして新たに開発されたニュータウン、北部は過去から受け継がれてきた田園風景が残る地域の二つの顔を持っています。

猪名川町消防団は、昭和三十

〇年の旧村の合併による猪名川町の誕生と併せて発足しました。その後、現在まで地域防災の中核として存在力を増しているところです。

前岡団長は、平成二年に入団し、その後、分団長、副団長を歴任され、平成二九年四月に第一五代団長として就任されました。

日頃は、建設会社社長をされており、業務が多忙の中、

消防団活動をはじめ地域活動においても活躍されています。

団長として多岐にわたる取り組みの中でも、現在は、団員数の減少による地域防災力の低下を解消することに最も力を注がれています。その実現に向けて、時代とニーズに合った機能的な消防団を目指し、組織の再編を積極的に進められています。

また、学生時代はボート部に所属しており、そこで培った類いまれなる精神力と統率力を発揮し、猪名川町消防団という船の舵を取り、消防団の発展に邁進されています。

団長に就任され間もなく一年になるうとしています。これからは二八分団を指揮統率し、地域防災力の向上のために尽力されることと思えます。

がんばってます、女性消防団員

『女性らしさを生かして』

姫路市では、平成二四年三月に女性消防団員が誕生しました。

現在は姫路市全体で一四名が活動しており、そのうち飾磨消防団の女性消防団員五名の活動を紹介いたします。

活動としては、各種行事の司会進行、救急講習の指導、合同訓練や水防工法等の訓練や、一月の消防出初式では、消防職団員合同一斉放水演技にも参加しています。

最近では、平成二九年一月三日に姫路城南側の大手前公園で実施された消防フェアというPRイベントにおいて、火災予防及び応急手当普及啓発の寸劇を披露しました。

というのも平成二九年六月三日に神戸市で開催された兵庫県女性消防団員活性化大会において、他都市の女性消防団員が寸劇を上演しているのを見て、こんな方法があるんだと衝撃を受け、私たちもやってみようということになりました。初めての試みであり、また、演劇経験者はおらず、皆で集まったの練習は月一〜二回程度でしたが、一人ひとりが練習を積み



防災フェアでのPR

重ねた結果、当日は、多数の観客の前で披露することができ、私たちでもやればできるという手応えを感じました。

今後も、もっとうまく披露できるように練習を続け、女性らしさを生かした活動で消防団の魅力を発信するとともに、市民の安全・安心を守るために貢献していきたいと思っています。

姫路市飾磨消防団

地域のお知らせ

篠山市(丹波地区)

篠山まるごと丼で地域活性化

丹波篠山ご当地グルメ

「篠山まるごと丼」

私たちのまち篠山市は、兵庫県中東部に位置します。篠山盆地の中央に拓かれた肥沃な農地や、昼夜の寒暖差が生む幻想的な「丹波霧」など自然の恵みにより良質な農産物が育まれ、野菜や米などのおいしさは格別です。また、人・自然・文化が織りなす食と農の都「篠山市」として様々な取り組みがされています。

主な特産物は、黒豆(黒枝豆)、山の芋、松茸、栗、茶など農産物を始め、丹波焼、丹波木綿などがあります。デカンショ節は全国的にも知名度が高く、八月の「デカンショ祭」や十月の「丹波篠山味まつり」、「丹波焼陶器まつり」をはじめ、多くの観光イベントが年間を通じて行われ、観光にもぎわっています。



篠山まるごと丼 こだわりの三ヶ条

篠山まるごと丼は、平成二二年に市民の提案で新ご当地グルメとして誕生しました。



篠山まるごと丼

猪肉を味噌仕立ての出汁で出食する「ぼたん鍋」は丹波篠山を代表する郷土料理として知られています。一月から旬を迎える「ぼたん鍋」について、年間を通して食べることができるご当地グルメとして篠山市内で一五店舗のお店が各店のこだわりのアレンジをきかせ一六種類の丼が提供されています。

篠山まるごと丼は、篠山ならではの三つの条件を満たした丼です。

- 一、篠山産のコシヒカリを使用
- 一、篠山産の特産肉を使用
- 一、篠山産の山の芋または旬の地野菜を使用

「丹波篠山ご当地グルメ推進委員会の活動」

篠山まるごと丼のPRや食育、地域活性化への活動にも取り組んでいます。

安全安心な農産物を産地消費することで生産者と消費者をつなげ、農業の活性化にも取り組んでいます。

旬の食材を使うことが栄養価の一番よい状態のものを食し体作りになることなど、篠山まるごと丼を入り口に子どもたちへの食育にも取り組んでいます。

篠山まるごと丼は、年に二回市内の学校給食で提供され子どもたちにも親しまれています。

平成二八年の春五月は篠山の食材を使って親子向けのイベントを開催しました。

親子で篠山まるごと丼のお弁当を作り、その後近くの公園までピクニックに出かけ、お弁当を食べました。お弁当は子どもたちに大人気の篠山のご当地キャラクターの「まるいの」や「まめりん」をかたどったものを作りました。

今後も愛されるご当地グルメとして推進活動に取り組んでいきたいと思えます。



丹波篠山ご当地グルメ推進委員会活動の様子



篠山のご当地キャラクター弁当

日本列島の中心・日本のへそ

高砂市

●高砂市の紹介
「高砂や この浦舟に帆を上げて」と古くからめでたい謡曲「高砂」(世阿弥作)で知られる高砂市は、兵庫県南部播磨平野の東部に位置し、東に加古川が流れ、南に瀬戸内播磨灘を臨み、古くから白砂青松の風光明媚な泊として栄えてきました。

●高砂市の観光名所
謡曲「高砂」で名高き神社です。境内には結納に欠かせない「尉と姥」の由来である霊松「相生の松」があり、人々の信仰を集めています。「相生」というのは、赤松と黒松との合成を意味し、黒松が主幹となつて、赤松が枝をのびし、両方の松が基部で纏にくっついていて珍しい植生の例です。

また一〇月一〇日〜一日の二日間、秋祭りが行われ、往時は「大阪の天神祭か高砂神社の秋祭か」と言われたほど、全国的に有名なお祭りでした。



尉と姥

※生石神社(おうしこじんじや)
高砂市宝殿山にある神社で、石の宝殿と呼ばれる巨大な石造物を神体としており、宮城県鹽竈神社の塩竈、鹿児島県霧島神社の天坂鉦とともに「日本三奇」の一つとされています。石の宝殿は、竜山石採石遺跡と共に平成二六年一〇月六日付で市内では初となる国の史跡に指定されました。



生石神社(石の宝殿)

●まつり

※万灯祭
毎年九月末に山陽電車高砂駅南側一帯で、市民参加の万灯祭が開催されます。堀川沿いの美しい景観と高砂神社十輪寺などを中心とした歴史的な建物がライトアップされ、路地には約五五〇〇個のキャンドルがともされます。

また、特設会場ではジャズが演奏され幻想的な夜を演出しています。

※秋まつり
高砂市は祭りが盛んな地域

で、毎年一〇月に高砂神社・荒井神社・小松原三社大神社・米田天神社・曾根天満宮・生石神社で行われます。祭りの最大の呼び物は豪華絢爛な屋台の練り合わせで、屋台が威勢よく練り合わされると、祭りは最高潮になります。



万灯祭

●高砂市の特産品

※にくてん

高砂市のご当地グルメで、高砂市周辺で戦前から手軽なおやつとして親しまれ食べられているお好み焼きです。にくてんには大きな特徴があり、味付けしたジャガイモと甘辛く煮たスジ肉とこんにやく(スジこん)が入っていることです。平成一六年に高砂市の商店連合会で「にくてん喰わん会」が発足され、高砂の地域活性化に貢献できるように活動を行っています。



にくてん

※焼あなご
活きのいいあなごを手早く開いて焼き上げる焼あなごは、高砂の代表的な特産品です。長年培われた職人の技が生み出す味と品質のよさは全国的にも有名で、味の特産として喜ばれています。

編集後記

あけましておめでとうございます。
毎日寒い日が続きませんが、皆様いかがお過ごしでしょうか。新年を迎え、決意も新たに消防団活動に取り組んでおられることと存じます。

さて、今月号では各団体の代表者の年頭のあいさつを掲載しております。

また、三面・四面では、秋の叙勲・秋の褒章・危険業務従事者叙勲の記事を掲載しております。受賞者の皆様、誠におめでとうござい

ます。
本年も引き続き「兵庫消防」のご愛読をよろしく願います。

